

令和4年度総合防災訓練に参加しました

令和4年10月9日（日）、戸田市立新曾小学校を会場として、新曾下町会さんと合同で「総合防災訓練」が実施されました。

シティテラス戸田公園自主防災会では、戸田市総合防災訓練に初めての参加となります。今後も、戸田市自主防災組織連絡協議会の一員として、防災訓練等活動に参加いたします。自主防災会の会員皆様におかれましても、積極的に防災訓練への参加を、これからもお願い致します。

本年度の防災訓練の内容は、全会場共通訓練として「避難所開設訓練」と選択訓練メニューとして「AED・心肺蘇生法訓練」、「消火訓練」、「水中ポンプ取り扱い訓練」です。

避難所開設訓練では、実際の避難所で使用するテントやパーテーションの組立をするので、実践的な訓練になりました。AEDによる心肺蘇生では、ビデオを視聴後、消防団のかたの実演を見て、実際にAEDを使用するなど、こちらも実践的な訓練となりました。最後に消火訓練も消火器を使った訓練で、どれも実際に必要となった時に役に立つものでした。

また、防災訓練後には、戸田市で保管している防災備蓄資材として保存食や保存水のうち消費期限のちかいものを景品として配布があります。内閣府防災情報HPでは、

「これまで、備蓄は3日分あれば十分と言われていましたが、非常に広い地域に甚大な被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。」とあります。1～3日は「冷蔵庫の中のもの食べてしのぐ」、次の3日間は「ローリングストック」している食材の活用。以降は、インスタント食品、フリーズドライ食品、チョコレートなどを活用など、書かれています。今回の保存食の配布やその他防災備蓄用資材などの配布はこのような自助による備蓄の参考としてご活用ください。

災害時のライフラインの停止など想定される状況に対し、カセットコンロなども重宝すると書かれています。カセットボンベは普段から少し多め（15～20本）にして備えるなど、普段からできる自助の備えのヒントが書かれています。また、保存用ウェットタオルや水のいらぬシャンプー、携帯トイレ、あったらいい便利なものいろいろあるので、普段から楽しみながら自助に向けての備蓄など備えについて考える機会になればと思います。

シティテラス戸田公園自治会、シティテラス戸田公園自主防災会



避難所開設訓練「テント組立」、
「パーテーション組立」



「AED・心肺蘇生法訓練」



消火訓練